

【年々増加！両自主運行バスの利用者数】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
米田ふれあい号	471人	641人	800人
きよみずバス	620人	747人	752人

米田ふれあい号・きよみずバスは、当初から、運転をそれぞれ米田地区区長会、きよみずバス協議会に委託し、地域との協働により運行しています。

きよみずバスは、利用者の利便性向上のため、平成27年10月に、1日2往復の計4便から、1日3往復の計6便に増便しています。

また、米田ふれあい号は、利用者の増加に対応するため、今年10月に、8人乗りであった車両を10人乗りのものに更新しました。

運行の状況

【地域の方々の声】

●運転手の方々から

- 人を乗せるので、安全に気を遣って大変ですが、地域の方から「便利で助かっています」「ありがとう」と喜ぶ声を聞かされた時、やりがいを感じています。(きよみずバス・大畑さん)
- お年寄りが乗っているのでも、ブレーキ操作には、特に気を遣っています。(米田ふれあい号・島田さん)



●利用者みなさんから

- 親戚や近所の人に頼まなければ買い物や病院に行けませんが、きよみずバスがあれば、自分ひとりで気軽に買い物や病院に行くことができ、助かっています。(平木地区・中山さん)
- 運賃が安く、お財布に優しいので、外出する機会が増えました。地域の方が利用され、コミュニケーションの場にもなるので、毎回乗るのが楽しみにしています。(廻淵地区・藤木さん)

新しました。

運行環境も充実中

両自主運行バスでは、運行環境向上のために、今年度から、運転手手当を増額。車両管理の負担を減らすカーポートの設置も完了しました。

交通手段確保のために

加東市では、既存の公共交通機関の維持・確保に努めるとともに、公共交通機関がな

い地域に対しては、それぞれの実情や課題を踏まえ、自主運行バスの導入を第一に、地域みなさんと連携・協議しながら、よりよい生活交通手段の確保を進めます。

生活交通手段の確保や自主運行バスの導入については、企画協働課にお問い合わせください。

問い合わせ
協働部企画協働課(庁舎4階)
☎43・0388



加東市では、畑・廻淵・池之内・湖翠苑・上鴨川・下鴨川・平木の各地区住民のみなさんを対象に、市名義の自家用車による有償旅客運送事業(自主運行バス)を、地域のみなさんに運行を委託し、実施しています。

全国的に公共交通の利用者が減少し、路線の減便や休止が行われていますが、畑・廻淵・池之内・湖翠苑の住民のみなさんを対象とした「米田ふれあい号」、上鴨川・下鴨川・平木の住民のみなさんを対象とした「きよみずバス」は、いずれも利用者が増加しており、地域で欠かすことのできない移動手段として、多くの方に親しまれながら、有効に機能しています。



導入の経緯

畑・廻淵・池之内・湖翠苑の各地区には、路線バスをはじめとした公共交通機関がなく、自動車を運転できない方にとって、自由な外出が難しい状況でした。そこで、地域住民のみなさんと協議を重ね、平成24年10月から「米田ふれあい号」を運行しています。

上鴨川・下鴨川・平木地区の鴨川地域では、神姫バスの社清水線が平成26年3月に休止したことを受け、地域住民のみなさんと協議を重ねて、同年5月から「きよみずバス」を運行しています。

米田ふれあい号
きよみずバス
好評運行中

問い合わせ 総務部財政課(庁舎4階) ☎43・0413

健全化判断比率	区分	加東市	早期健全化基準	財政再生基準
	実質赤字比率		-(△ 3.61%)	13.06%
連結実質赤字比率		-(△ 33.23%)	18.06%	30.00%
実質公債費比率		5.1%	25.0%	35.0%
将来負担比率		-(△ 95.5%)	350.0%	

資金不足比率	区分	加東市	経営健全化基準
	病院事業会計		-(△ 27.3%)
水道事業会計		-(△ 258.6%)	20.0%
下水道事業会計		-(△ 14.2%)	20.0%

※実質赤字比率、連結実質赤字比率については、実質赤字、連結実質赤字が生じていないため「-」で表示し、参考に黒字の比率を()内に「△」で表示しています。

※将来負担比率については、将来負担額よりもそれに充当できる財源が上回るため「-」で表示し、参考に比率を()内に「△」で表示しています。

※資金不足比率は、資金不足が生じていないため「-」で表示し、参考に資金剰余の比率を()内に「△」で表示しています。

加東市は健全な財政を維持しつつです

地方公共団体は「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、財政の早期健全化や再生の必要性を判断するための統一した指標「健全化判断比率および資金不足比率」を公表することが義務付けられています。

平成28年度決算に基づく加東市の状況は、国が定める基準を、十分な余裕を持ってクリアしています。

兵庫県が発表した「県内市町の平成28年度決算見込み(普通会計)および健全化指標」によると、借入金返済額の大きさを示した実質公債費比率では、県内41市町中で11番目、北播磨地域内5市1町で3番目に低い数値で収まっており、将来に財政を圧迫する可能性の度合いを示す将来負担比率でも、県内で7市町とともに同率1位と、優秀な財政状況を維持できています。

現在は、健全な財政運営となつていますが、今後、小中一貫校の整備などの大規模プロジェクトを推進していくことや、社会情勢の変化に備えなければならぬことから、引き続き、健全な財政運営に努めていきます。

親子で作るかわいい
デコおせち教室

11月24日のかとう和食の日の取り組みなど、まちを挙げて進めている和食の普及と、和食による健康増進。それらをさらに加速させるため、まちの拠点づくりコンソーシアムにおいても、子育て世代とその子どもたちをターゲットに、かわいらしくアレンジした「デコおせち」作りを通して、より気軽に和食に親しんでもらえる料理教室を開催します。

調理方法や、素材の一つひとつに意味や願いが込められた和の伝統・おせち。お子さんと一緒におせちを作りながら、家族の幸せをかみしめ、素敵な思い出を作ってください。

日時 12月3日(日)
第1部 10時~12時
第2部 13時~15時

場所 やしろショッピングパークB10多目的ホール

対象 3歳以上のお子さんとその保護者

内容 デコおせちづくり
○犬おにぎり ○門松ちくわ
○薔薇かまぼこなど

講師 キッチンスタジオ いちごはん主宰 苺ママ 石野 愛さん

参加費 1組2,000円(材料費込み)

○お子さんは1人あたり500円で増員可能です。

定員 各部10組(申込順)

募集開始 11月10日(金)

申込方法 ①住所②保護者の氏名③同伴するお子さんの人数と年齢④電話番号⑤受講希望時間を記載した電子メールを、まちの拠点づくりコンソーシアムまでお送りください。

申し込み・問い合わせ まちの拠点づくりコンソーシアム
☎080・3787・5254
電子メール hitoko.kato@gmail.com